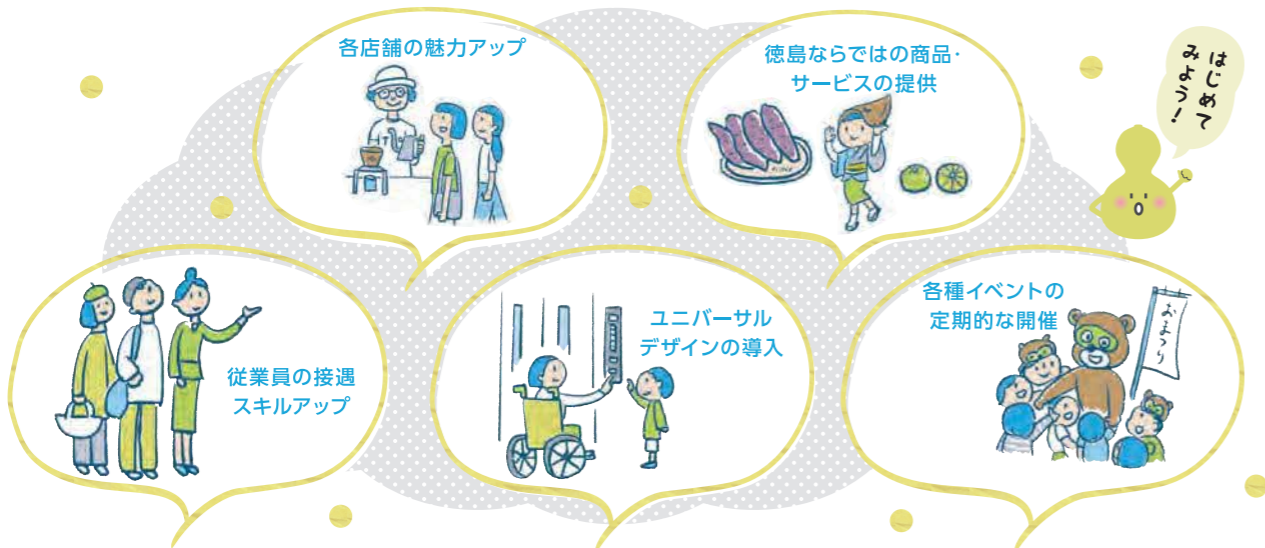


一人の100歩より、100人の一歩。できることから、はじめてみよう。



徳島市は皆さんのチャレンジを応援します!!

市民の皆さんを支援

「徳島市市民活力開発センター」が「徳島市まちづくり協働プラザ」としてリニューアルオープン



まちプラをぜひ活用してくださいね

徳島市市民活力開発センターは、NPOをはじめとする市民活動の活性化を目的として設置された組織で、市民活動に関する相談支援や情報提供、人材育成のための講座・研修、団体間の交流促進などを行っています。

同センターは令和4年春からアミコビルに移転し、「徳島市まちづくり協働プラザ(通称:まちプラ)」としてリニューアルオープンします。何か活動してみたい、一緒に活動できる仲間を作りたいなど、市民活動に興味・関心がある方は、ぜひ一度お立ち寄りください!

1. 情報提供…市民活動に関するイベントや助成金などの情報提供を行っています。
2. 相談支援…NPO法人の設立や組織運営、活動への参加等、市民活動に関する相談に応じています。
3. 講座・研修…団体運営に必要な知識を得るため、テーマを設けた講座等を開催しています。
4. 交流・連携…団体・学生・企業・行政など異なった分野間の交流の場を設けています。
5. 各種貸出…市民活動団体などに対して会議室や各種機材等の貸し出しを行っています。

事業者の皆さんを支援

徳島市産業支援交流センター

産業支援交流センターは、産業育成や新たな事業創出、利用者相互の交流促進等を目的として、アミコビル1階・9階に設けられた産業振興施設です。同センターでは、専門家などによる無料の経営相談も定期的開催されています。



ショールーム
木工や藍染などの地場産品を展示・販売しているショールームです。



コワーキングスペース
徳島で働く人が集い、仕事をするコワーキングスペースです。



民間企業等が持つ資源(アイデア、ノウハウ、ネットワーク、資金等)と市の政策課題や連携ニーズを結び付け、公民連携により地域の課題を解決するため、連携協定の締結に向けたワンストップ窓口「徳島市SDGs公民連携プラットフォーム」を開設しています。

ワンストップ窓口

徳島市企画政策課
徳島市幸町2-5市役所8階
☎088-621-5085

新規出店・商店街・イベント



徳島市では、ほかにも中心市街地活性化に向けた事業活動の支援として、新規出店への助成や商店街の活性化、各種イベントの開催などに取り組んでいます。

なお、助成内容は毎年の予算により変動しますので、徳島市公式サイトから最新情報をご確認ください。

各種助成金などの支援情報はこちら



「わくわく実感! 水都とくしま」の創造 2022⇒2026

TOKUSHIMA

徳島市 中心市街地活性化 基本計画

ダイバーシティ&イノベーション

人と人がつながり、新たな挑戦や投資が生まれる街。



徳島市中心市街地活性化基本計画は徳島市公式サイトからダウンロード!!



計画ダウンロード

令和4(2022)年3月

企画・発行 徳島市

徳島市中心市街地活性化基本計画の概要

中心市街地を取り巻く課題

課題1

都市のランドマークの喪失

商業施設や文化施設の閉館が相次いだことによって、本市の中心市街地では集客の核となるランドマーク施設が減少し、求心力のある魅力的な都心が形成されていません。

課題2

商業需要を底上げする集客要素の必要性

かつての中心市街地は買い物をする場所としてにぎわっていましたが、郊外に数多くの大型商業施設が立地する中、本市の特性を生かした商業需要を底上げする集客要素が求められています。

課題3

まちなか労働人口の減少

本市の従業者の多くを占める卸売業・小売業について、中心市街地での縮小が続いており、それに伴って中心市街地で働く人数も減少傾向にあります。

課題4

面的な人の広がりへの欠如

中心市街地には観光施設などの集客拠点が点在していますが、拠点間を結ぶ動線上に散策を促す仕掛けが乏しく、まちなかにぎわいづくりにつながっていません。

課題5

歩いて暮らせる環境の不十分さ

自家用車への依存度が高い本市においては、加速する少子高齢化の流れを踏まえて、歩いて暮らせるまちづくりの重要性がますます高まっています。

中心市街地活性化に向けた基本方針

中心市街地を取り巻く環境が大きく変化する中、街の特性を生かしつつ、様々な人と人がつながり、その中から新たな価値やサービスが創造される環境を作り上げていくことが重要です。

そのため、多様な人々がまちづくりに参画する「ダイバーシティ（多様性）」と、先端技術などを導入しながらこれまでになかった価値を創造していく「イノベーション（創造性）」を、本計画におけるキーコンセプトとし、新たな挑戦や投資が生まれる街を目指した取組みを進めます。

人と人がつながり、新たな挑戦や投資が生まれる街。



方針1 街へ行きたくなる“場面”づくり(来街者数の増加)

方針2 街を巡りたくなる“動線”づくり(回遊者数の増加)

方針3 街に住みたくなる“空間”づくり(居住者数の増加)

将来像

水とくしま わくわく実感!

計画区域及び主な事業の実施箇所



エリア全体で実施する事業		
コンベンション誘致支援事業	リノベーションまちづくり推進事業	道路照明LED化事業
商店街活性化支援事業	ナイトタイムエコノミー促進事業	狭あい道路整備事業
中心市街地賑わい創出事業	創業促進事業	危険廃屋解体支援事業
企業誘致・雇用拡大等推進事業	フィールドアトラクション発掘・発信事業	既存木造住宅耐震化促進事業
		ひょうたん島川の駅ネットワーク推進事業
		LEDが魅せるまちとくしま推進事業
		とくしままちなか花ロードproject「花植え会」
		道路メンテナンス事業
		すいすいサイクル事業

主要事業の概要

街へ行きたくなる“場面”づくり R2~R4

徳島駅前再生事業

JR徳島駅前のアミコビルについて、徳島県青少年センターの機能移転やテナント誘致に向けた施設改修など、そごう徳島店の閉店後における徳島駅前の再生に向けた支援を行います。



街へ行きたくなる“場面”づくり R2~R8

徳島文化芸術ホール(仮称)整備事業

中心市街地のランドマークとなる新ホールを県市協調で整備するとともに、その他周辺環境整備を行うことにより、来街者を増加させます。整備後は徳島ならではの文化・芸術発信に加え、各種コンベンションなどの集客拠点として活用します。



街を巡りたくなる“動線”づくり H8~

ひょうたん島周遊船運航事業

中心市街地を流れる新町川と助任川に囲まれた「ひょうたん島」の周囲約6kmを巡る周遊船の定期運航を行うとともに、夏季に屋形船でのイベントを実施します。



街を巡りたくなる“動線”づくり R4~

フィールドアトラクション発掘・発信事業

これまで観光コンテンツとして注目されていなかった中心市街地の地域資源を使った体験プログラムを磨き上げ、街を回遊する楽しみ方を発掘・発信します。



街に住みたくなる“空間”づくり R3~R8

新町西地区市街地再開発事業

JR徳島駅と阿波おどりの会館を結んだシンボルゾーンの中間に位置する新町西地区において、集合住宅・宿泊施設・商業施設・川の駅等を整備する民間主導の再開発事業を推進します。



街に住みたくなる“空間”づくり R1~

移住促進事業

移住交流支援センターの運営や移住希望者に対する支援等を実施するとともに、ワーキングホリデーや本市の地域資源を生かした移住促進策を展開します。



計画に掲げる目標及び目標指標

基本方針	目標	目標指標名	基準値 (令和2年度)	推計値 (令和8年度)	目標値 (令和8年度)
1 街へ行きたくなる“場面”づくり	来街者数の増加	ランドマーク施設来館者数※	2,441千人	2,589千人	3,741千人
2 街を巡りたくなる“動線”づくり	回遊者数の増加	まちなか歩行者通行量 (平日・休日平均)	15,697人	16,494人	20,807人
3 街に住みたくなる“空間”づくり	居住者数の増加	まちなか居住者数	7,546人	7,158人	7,567人

※ 本計画におけるランドマーク施設は阿波おどりの会館、アミコビル、徳島文化芸術ホール(仮称)の3施設とします。

街にはそこに住む人々が培ってきたアイデンティティがあり、長い歳月をかけて育んだ文化があります。徳島の人々にとっては当たり前でも、そういった文化や地域資源を大切にしながら、地方都市がそれぞれ特色あるまちづくりを進めていくことが大切だと考えています。

新ホールの整備やアミコビルの再生など新たな光が差し込み始めた今、本市では、中心市街地の再生を確かなものとするため、徳島商工会議所をはじめとする多くの関係機関のご協力を得ながら「徳島市中心市街地活性化基本計画」を策定しました。

これからも街に関わろうとする皆さんと手を取り合い、「わくわく実感! 水とくしま」の創造に向けたまちづくりを進めていきますので、皆さまのご理解とご協力をよろしくお願いいたします。



徳島市長
内藤 佐和子